

輸送を支える。社会をよくする。

SSCV
Smart & Safety Connected Vehicle



SSCVはテクノロジーとオープンな協創を通じて、
輸送事業をアップデートするデジタルプラットフォームです。
物流会社だから提供できる現場発想のサービスでさまざまな課題を解決し、
輸送と社会をよりよい未来へつなぎます。

株式会社日立物流

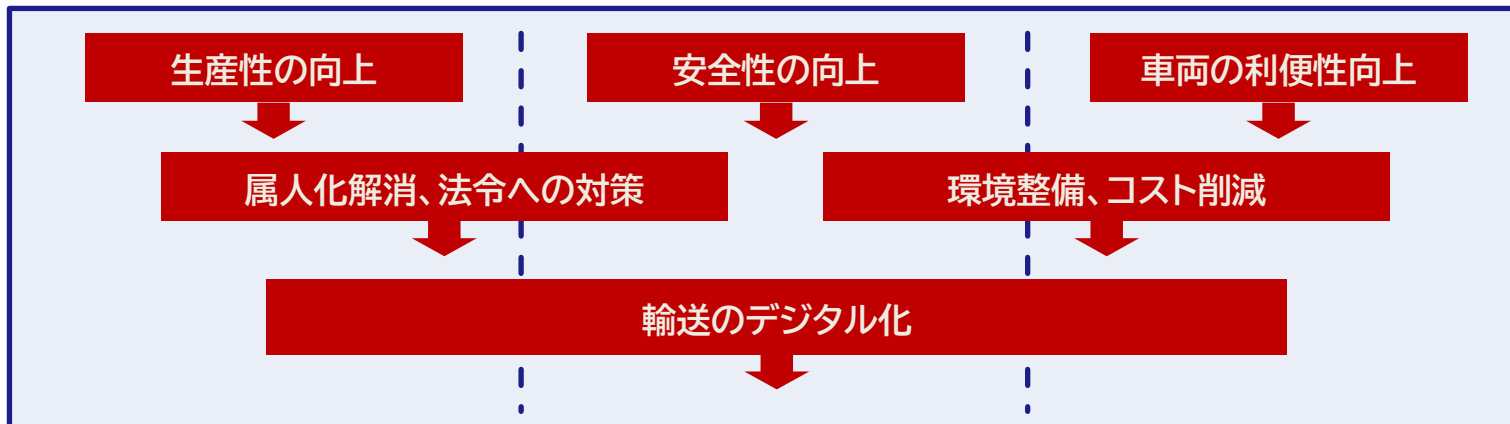


SSCV Smart & Safety Connected Vehicle が 解決する輸送課題

輸送の現場には、中小の事業者独自の取り組みでは解決の難しい多くの課題が存在します。

輸送に関わるすべての人の助けとなり、社会インフラである物流の下支えとなるプラットフォームをめざします。

物流会社の視点で、輸送課題の本質を3つのテーマにカテゴライズし、それぞれを解決に導くためのサービス化を推進。また、課題の共通点はアナログ/属人化である点に着目し、輸送のデジタル化を主眼にサービスを開発。



輸送事業が抱える包括的な課題



日立物流が提案する、輸送事業の課題解決策

DXによる
業務の効率化

+

IoT/AIを活用した
運行の安全性向上

+

フリートマネジメント
導入による最適化

効率化

Smart

業務効率向上
法令遵守

安全

Safety

安全運転管理
事故ゼロ社会

車両管理

Vehicle

車両整備の最適化
故障予兆・予防整備

ひとつのログインで、
輸送課題すべてをスマートに。

SSOV

Smart & Safety Connected Vehicle

Smart



効率的な働き方を提供する

Smart

効率化

SSCV-Smartは、物流インフラを担う輸送事業者の経営から現場業務まですべてを「スマート」にするための、輸送業務支援ソリューションです。物流会社だからこそ分かる、輸送現場の課題解決に必要なあらゆる機能とサービスをひとつに集約して提供することで、輸送会社の事業成長を支えます。

荷主と輸送事業者をつなぐことで、業務の効率化を図る



荷主と輸送事業者をインターネットで繋ぎ、事業効率化・収益改善を支援します。
ひとつのWebシステムで、案件の獲得から配車、運行指示書発行、請求までを管理することができます。

荷主・依頼元

求車登録

見積依頼

注文

支払通知



協力会社

求貨登録

見積回答

車番連絡

運行毎検収

請求書発行

車両割付

運行指示書発行



- ・インターネットの環境があれば使用可能(インストール等の作業不要)
- ・協力会社間の仕事のやり取りにも利用可能



荷主と輸送事業者をインターネットで繋ぎ、事業効率化・収益改善を支援します。



受発注(見積)機能

・見積依頼～金額回答を一連の流れで管理可能・ペーパーレスで見積書の作成・確認が可能

金額を入力するだけで見積作成

荷主側機能

- ・条件を指定した見積の依頼
- ・見積回答内容を確認し、そのまま発注が可能
- ・案件毎のステータス管理が可能

輸送事業者側機能

- ・費目単位での見積回答機能
- ・同一システム内での再委託が可能
- ・見積条件/発注内容の変更通知および再見積が可能



運行指示書発行機能

・トラックが休憩可能な場所を指定し、改善基準告示に則った運行指示書を自動作成

- ・運行情報(出発、到着)入力にて、運行指示書を自動発行
- ・計算に必要な車両情報はマスタに保持(都度入力不要)
- ・休憩・休息時間、拘束時間等のパラメータを任意で設定可能
- ・特定ルートをお気に入り登録



「あらゆる現場課題」に対する解決策をサービスとして提供し、持続可能な経営を下支えします。



業務効率化

- ・見積書等帳票作成の手間が省ける
- ・月初を待たずに請求金額の確認が可能(工数平準化)
- ・車両別の売り上げが一目で分かるようになる



ペーパーレス

- ・ファックス送信・受信の手間を省ける
(車番連絡、追加金額の連絡 等)
- ・見積書・注文書の紙保存が不要になる



法令遵守の強化

- ・改善基準告示に準拠した運行指示書の作成支援
- ・見積書発行有無の確認が容易になる



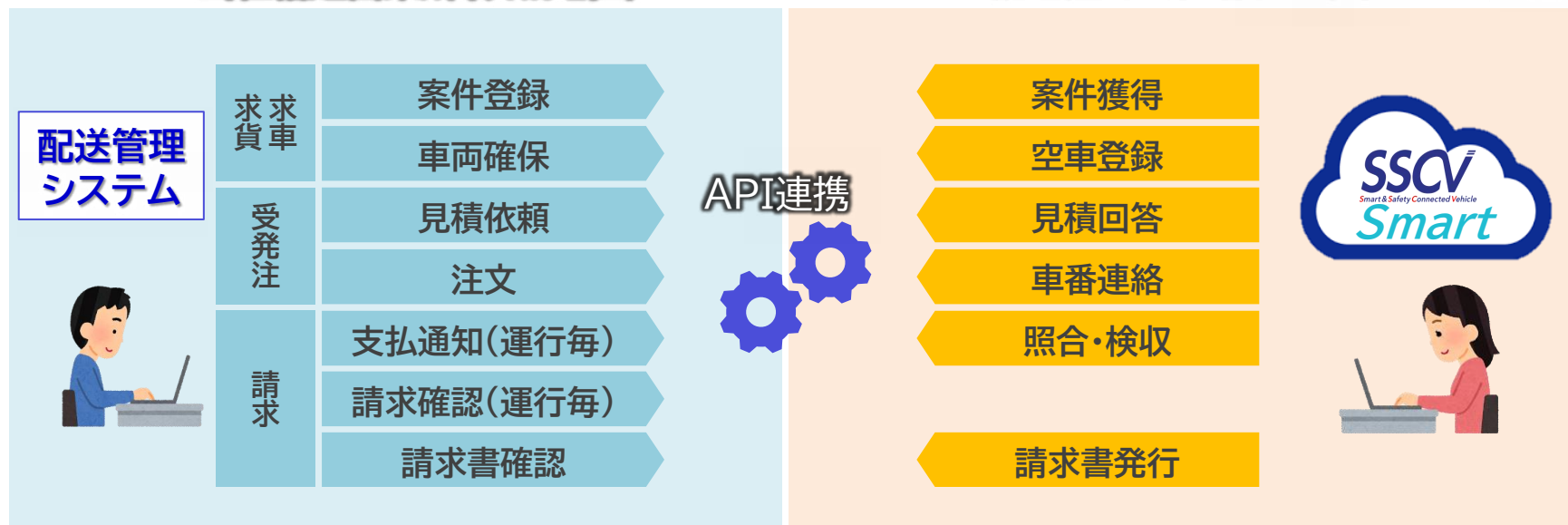
導入効果(一例)

Smart

当社茨城地区の輸送営業所と協力会社へ導入し、双方で定量的・定性的な効果が生まれています。

当社輸送営業所(茨城地区)

輸送協力会社(約60社) ※2022/4末現在



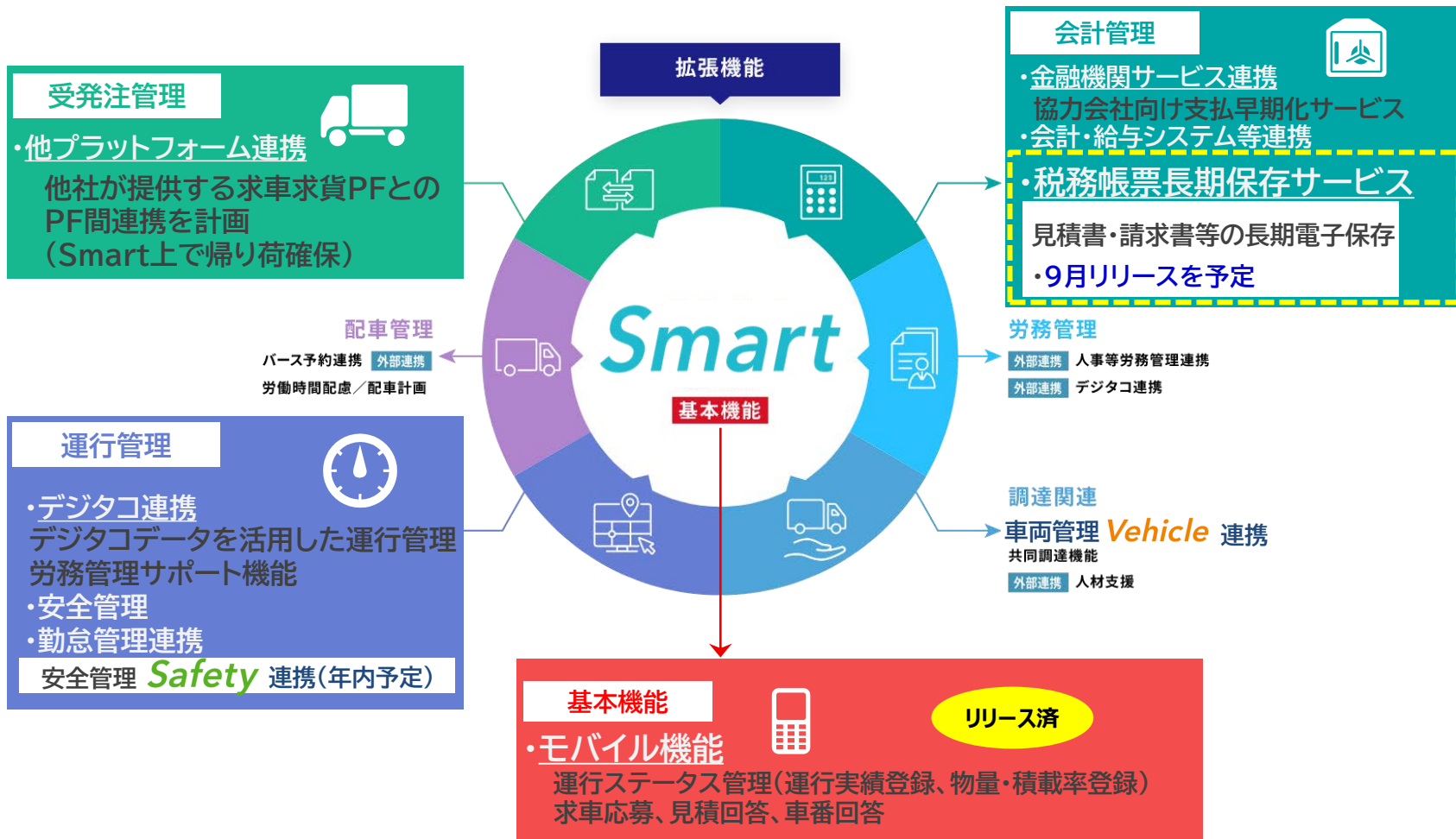
帳票作成・各種連絡等、
業務工数低減
 2,400枚/月の紙削減見込

コミュニケーション起因の
担当者ストレス減

各業務に於ける
ミスの早期発見
 コンプライアンス強化



SSCV-Smartにログインすれば、輸送事業者が必要とするあらゆるサービスの提供をめざします。そのために、他社サービスとも連携をしながら、随時最適なサービスをリリースしてまいります。



すべての運ぶに安全を

SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle

Safety



ドライバーの安全に寄り添う

Safety

安全

運転事故につながる危険の芽を、瞬時に把握して摘み取ることを徹底的に追求した
安全運行管理ソリューションです。

万が一の事故に備えるのではなく、先回りして事故を抑え込む。
「事故そのものを無くしたい」という
日々事故と向き合う物流会社だからこそカタチにできた
すべての輸送事業者とドライバーの安全を実現するソリューション。

ドライバーを守り、すべての事業者に「安全」を届ける

■3つの特長で実現する安全運行管理ソリューション

予測する

体調・疲労状態の可視化

見守る

危険走行を検知し発報・通知

振り返る

ヒヤリハットイベントの確認

ドライバー向け

体調・疲労
測定機能



ドライバーの体調や
疲労を測定



体温

血中酸素
濃度

血圧

自律神経

走行状況、ドライバーの
疲労状態を検知し、
**危険運転や危険状態を
リアルタイムでアナウンス**



通信型
ドラロック

スマート
フォン

IoT
ボタン

脈拍
センサー

AI・機器が検知し自動で切り取られた
動画がクラウド経由で確認可能

※SDカードの抜き取り不要

**その日起きたことを、その日のうちに！
短時間で、共有・振り返り**



特許出願中



運行ルート
振り返り



運転評価
コメント入
力

管理者向け

ダッシュボード
機能



ドライバー個人ごとの
体調や疲労状態を把握し
事故リスクを事前に予測



体温

血中酸素
濃度

血圧

自律神経



特許出願中

ドライバーに迫る**危険状況をメール通知**
全車両の位置と全ドライバーの
疲労状態把握も可能



特許取得

特許出願中



ヒヤリハット動画の種類

法令違反	一時不停止	速度超過
急制動	急発進	急減速
危険運転	車間距離不足	衝突事前
	衝撃	脇見

※付属デバイスの構成は変更になる可能性があります



予測する → 見守る → 振り返る → 出発前

体調や疲労状態を把握して
事故リスクを事前に予測

点呼前にバイタル測定結果による客観値及び個人の傾向値にて
当日の体調・疲労の傾向を定量的に総合評価

特許出願中

事故リスク予測アルゴリズム



体調総合判定

ヒヤリハット予報機能



自律神経測定中

体温

血中酸素濃度

血圧

自律神経



予測する → 見守る → 振り返る → 運行中

運行中のドライバーの危険運転・危険状態などを検知・録画
⇒ リアルタイムで注意喚起

ドライバー向け

ポイント① 運転中の各種データを捕捉

ポイント② 各種危険運転や危険状態を検知・録画



「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です



※機種によって検知するヒヤリハットイベントは異なります



予測する

見守る

振り返る

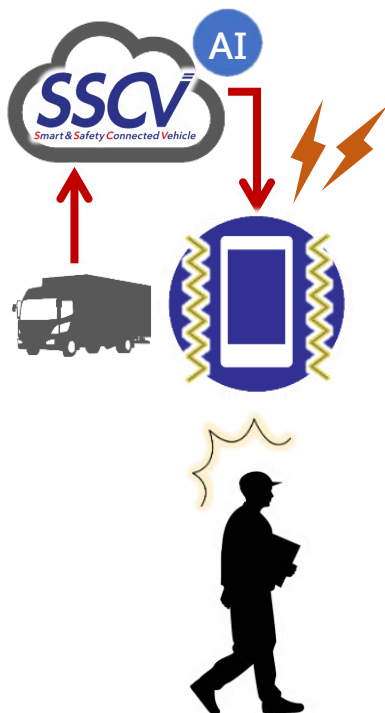
運行中

危険な状況を随時管理者へ
メッセージ通知(事象・位置・動画)

管理者向け

真にフォローすべき危険な状況を随時管理者へ **メッセージ通知**(事象・位置・動画)

特許取得 = 当社独自の技術
(特許第6714036号)



事象

位置

動画

例: 衝撃



AIにより自動検知された
20秒のインシデント動画



衝撃



疲労状態

※通知のみ



予測する → 見守る → 振り返る → 帰着後

自動でショート動画化することで、容易に振り返りができる点呼環境を実現

ポイント① 一日の運行の軌跡をマップで表示

ポイント② ヒヤリハットイベントの位置・動画・検知内容・時刻を表示



切り出される
ショート動画の種類

法令違反



急制動



危険運転



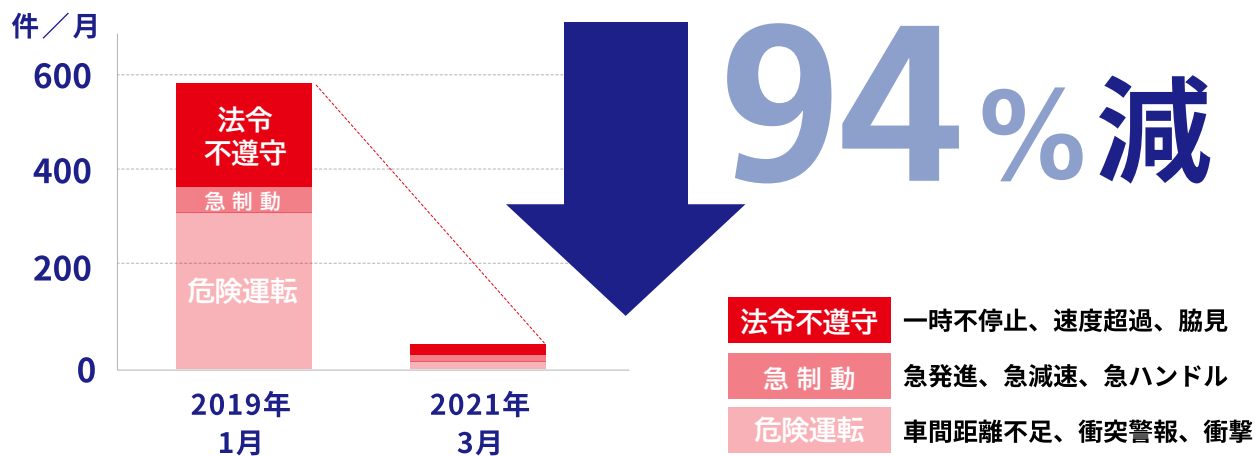
特許出願中 動画や体調の推移を見て、ドライバー一人一人に最適な教育が可能



漫然運転に 起因した車両事故



ヒヤリハットイベントの総発生件数



その他の導入効果

- ✓ ドラレコ映像の確認がピンポイントとなり効率的になった
- ✓ ドライバー個々のクセを確認出来る様になり教育の質が上がった
- ✓ ドライバー自身が体調管理に以前より気を付けるようになった
- ✓ ドライバーの公正な評価が可能となった
- ✓ ドライバーとのコミュニケーションの活性化

運ぶを止めないために必要なこと

SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle

Vehicle



トラックをもっと使いやすくする

Vehicle

車両管理

車のライフサイクルにおける課題を解決し、
業務効率・安全・品質・コンプライアンスの強化を支援するトータルサービスです。

車の調達から維持管理、売却までのサポートに加え、IoT技術とビッグデータを活用した
故障予兆、予防整備、燃費可視化(CO2削減)という従来にないサービスを提供します。

「運ぶを止(と)めない」使命を持つ物流会社ならではの視点とテクノロジーの融合による、
新たなフリートマネジメントサービス。

車の調達から買取まで車両を一元管理でサポート



従来の車両の一括管理、アウトソーシングサービスに加えて、IoTやビッグデータを活用し、故障予兆などを事前に検知。車両を利用する企業が抱えるさまざまな業務に対して包括的に対応し、事業者の経営をサポートすることをめざします。

コストマネジメント

スケールメリットを活かした車の調達から廃車までを一元管理。定額メンテナンスサービスにより、整備コストが平準化

¥ コスト平準化

車検、整備
消耗品交換



法令遵守

日立物流グループで培ったノウハウを活かし、関係法令等のコンプライアンスリスクに対応。お客様の安全・品質向上をめざし、車両管理をサポート



車両に関する さまざまな業務



業務効率化

ビッグデータを活用し最適な車両整備をご提供します。煩雑な管理業務をアウトソーシングすることで、業務負荷が軽減

データの
利活用

先回りした
車両整備



故障予兆

車検の
段取り

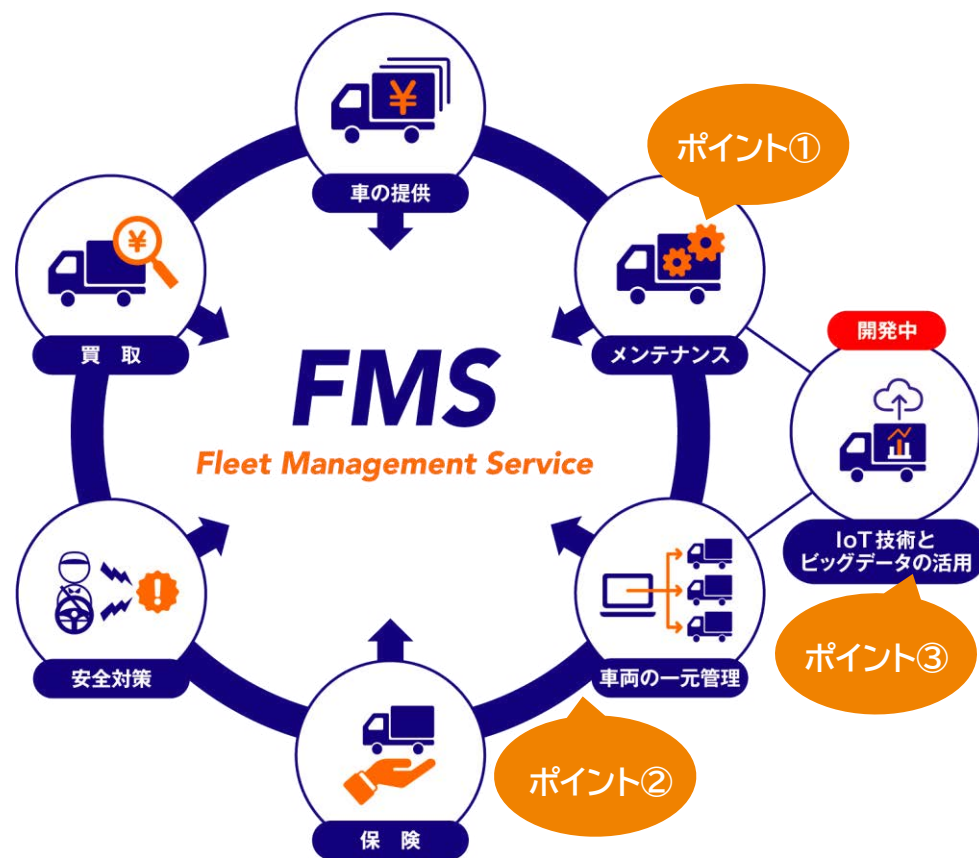
保険



車両管理のアウトソーシング



車の調達からメンテナンス、買取まで。実業で車を扱う物流会社ならではのサービスと知見で、車両の一元管理をサポート。さらにIoT技術とビッグデータを活用した遠隔診断・故障予兆を実現し、輸送事業をご支援します。



SSCV-Vehicleの特長

ポイント①

多種多様な車種に対応し、定額制メンテナンスサービスをご提供します

- ▶ 毎月変動する整備等のコストを平準化でき、車両管理もアウトソーシング

ポイント②

物流会社の知見を生かした、安全・安心の車両の一元管理サービス

- ▶ 事業資源である車のリスクを低減させることで、経営基盤の強化につながる

ポイント③

車両データを活用して、異常や故障を先回りして検知。事後ではなく事前に対処できる

- ▶ 常に車両を活用でき、事業機会の損失を未然に防ぐことが可能



当社はフリートマネジメントとして、車両に関わるあらゆるサービスを扱っています

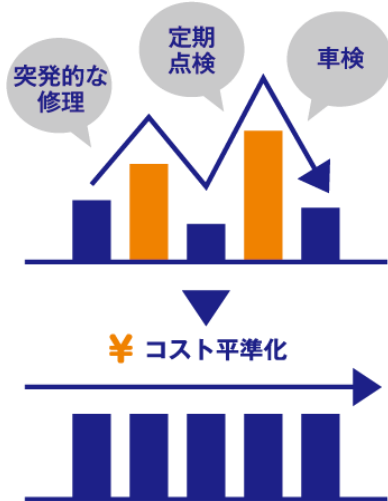


サービス紹介:定額メンテナンスサービス

特長

車両のメンテナンスにかかるコストを平準化するサブスクリプションサービスです。故障時の支払リスクを回避。常に整備された車両に乗れ、止めない物流をサポートします。

変動コストを平準化



メンテナンスの対象

定期点検

車検整備
12ヶ月点検
3ヶ月点検

消耗品交換

オイル
バッテリー
ブレーキなど

高額修理

ディファレンシャル載せ替え	ターボ交換
エアサス修理	トランスミッション載せ替え
エンジン載せ替え	クラッチオーバーホール
パワステ修理	ブレーキ修理
ラジエター交換修理	D.P.Fマフラー交換

※架装部分は対象外

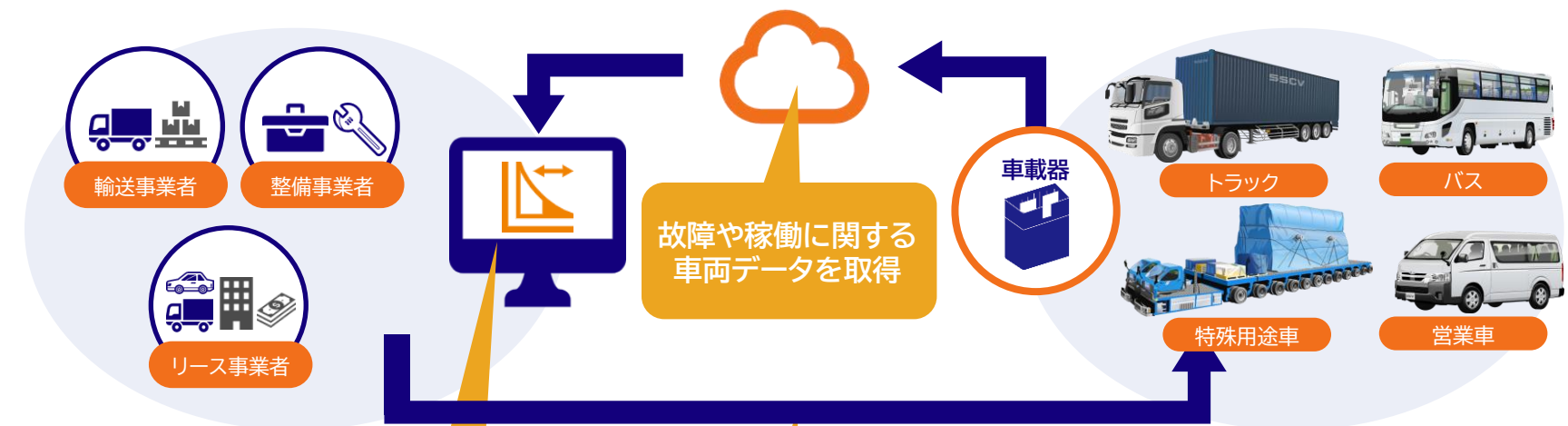
車両管理もサポート





専用の車載器を車両に取り付け走行中の車両からあらゆるデータを取得し、『クルマ』を見える化するサービスです。取得したデータを活用し、より安全、効率的な車両管理をご提供します。更にカーボンニュートラルにも貢献します。

OBD2を活用した“クルマの見える化”



故障や稼働に関する
車両データを取得

一つのシステムで車両に関するあらゆるデータを把握することが可能

車両データを活用して提供できるサービス

- 遠隔メンテナンスサービス**
故障を未然に把握し、整備工場と共有より安全な車両管理を実現
- CO₂管理サービス**
CO₂排出量を可視化し、改善をすることでカーボンニュートラルに貢献

輸送事業者が抱える課題を解決し事業成長を支えることで、社会インフラとしての物流の発展に寄与します
そして、持続可能な物流を実現することで、社会に対して貢献します

輸送事業者が抱える課題

- ✓ ドライバー不足
- ✓ 安全性の確保
- ✓ 働き方改革
- ✓ 法令規制強化
- ✓ 後継者不足
- ✓ 環境負荷低減
- ✓ ホワイト物流対応
- ✓ BCP など

01 輸送事業運営の
難易度が高まる

SSCV が課題解決
Smart & Safety Connected Vehicle

02 物流業界における
輸送課題の解決

サステナブルな
物流

04 輸送事業の
価値向上

物流業界

社会

輸送課題の解決からサステナブルな
物流を実現し、輸送事業者を含めた
社会全体の成長に貢献

03 社会インフラとしての
物流の維持・発展

輸送業界が直面しているさまざまな課題(安全確保、法令遵守、業務効率化、持続可能な経営)を、先進のデジタルテクノロジーとオープンな協創、そして物流会社の知見によって解決していく。蓄積したデータを還元し、社会の発展に貢献する。それが、輸送デジタルプラットフォーム「SSCV」です。



Value 1 3つのソリューションで輸送事業者をサポート

効率的な働き方を提供するSmart。ドライバーの安全に寄り添うSafety。トラックをもっと使いやすくするVehicle。3つのソリューションで、輸送現場の課題を解決します。

Value 2 異業種との協創によるサービスの拡充

それぞれの課題領域でパートナーと協創することによって、サービスを拡充し、さらなる社会課題解決へと寄与します。

Value 3 SSCVデータを社会課題の解決に活用

提供サービスから得たビッグデータを利活用し新しいビジネスの構築や社会課題の解決をめざします。





[輸送デジタルプラットフォーム](#)



Smart

[輸送業務支援ソリューション](#)



Safety

[安全運行管理ソリューション](#)



Vehicle

[車両管理ソリューション](#)



SSCV全体紹介動画をご覧になりたい方はコチラ



[日立物流 Youtube Channel](#)

